



冬の夜を彩る☆ 大久野イルミネーション2016

大久野イルミネーションは、地元の有志による実行委員会
が主催するイベントで、大久野地区の冬を彩る風物詩として親
しまれています。

秋川街道沿い萱窪交差点から太平洋マテリアル(株)ミネラル
ファイバー工場前までの街路樹にイルミネーションが灯される
ほか、こども未来公園には高さ12mのシンボルツリーが、大久
野小学校正門前には長さ15mの光のアーチがお目見えし、イル
ミネーションに花を添えます。また、沿道の家々も色鮮やか
なイルミネーションで飾られ、暗かった真冬の夜道を明るく照
らします。

イベント期間中には、大久野小学校の体育館でクリスマスイ
ベントも開催されます。体育館前には地域の方々による模擬

店が並び、ステージでは
演奏やダンスなどが披露
されます。また、クリスマス
イベントのクライマックスには、小
学校の校庭から冬の透き通る空に
花火が打ち上げられます。

開催期間 11月26日(土)~12月31日(土)
17時00分~22時00分
問い合わせ 大久野イルミネーション実行委員会
清水 哲 ☎042(597)4650

イベント クリスマス・フェスティバル
12月23日(金)13時30分/大久野小学校(体育館)



Event Report

8月5日・19日

夏休み処分場見学会

恒例の「夏休み処分場見学会」を実施しま
した。小学生の親子を中心に、約100名近く
が参加しました。二ツ塚処分
場では、自分た
ちが出したごみ
のゆくえやエコ
セメント化施設
のしくみを学び



エコセメントについて学びました

ました。埋立が終了した谷戸沢処分場では、
それぞれ散策を楽しんだり、アオダイショウ
と触れあったりして自然に親しみました。

循環組合の動き

平成28年	内容
6月7日(火)	第35回循環組合技術委員会
6月20日(月)	第39回谷戸沢処分場環境保全調査委員会
6月21日(火)	第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
6月23日(木)	第22自治会二ツ塚処分場対策委員会
6月24日(金)	環境データ公表(平成27年度分)
7月25日(月)	平成28年第2回理事会
8月18日(木)	第40回谷戸沢処分場環境影響評価委員会
9月27日(火)	平成28年第2回正副管理者会議
9月27日(火)	第22自治会二ツ塚処分場対策委員会
9月29日(木)	第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
9月30日(金)	環境データ公表(平成28年度第1四半期分)
10月11日(火)	平成28年第3回理事会
10月26日(水)	平成28年第2回議会定例会
11月29日(火)	第36回循環組合技術委員会

議会の報告

循環組合の議員は、組織団体25市1町の議会議員の中から選出されています。

平成28年第2回組合議会定例会(平成28年10月26日開催)

番号	件名	結果
議案第7号	東京たま広域資源循環組合行政不服審査条例	原案可決
議案第8号	平成27年度東京たま広域資源循環組合一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第9号	平成28年度東京たま広域資源循環組合一般会計補正予算(第1号)	原案可決

10月分 放射性物質の濃度を毎月測定しています

循環組合では、放射性物質汚染対策特別措置
法、日の出町および地元自治会・同対策委員会と
締結した特別協定に基づき、エコセメント化施設
における放射性物質濃度の測定(月1回)と二ツ
塚処分場の敷地境界における空間放射線量の測
定(週1回)を行っています。測定結果は毎月ホ
ームページでも公開しています。

エコセメント化施設(10月調査分)

放射性セシウム濃度(セシウム134と137の合計)		
乾燥機等排ガス	不検出	Bq/m ³
焼成炉排ガス	不検出	Bq/m ³
金属回収汚泥	9	Bq/kg
下水道放流水	40	Bq/L
エコセメント(製品)	不検出	Bq/kg

平成27年度決算

決算額は、歳入が104億2,183万円(前年度比約2.7%減)、
歳出が100億6,666万円(前年度比約3.1%減)となりました。平
成27年度は、住民の皆さまのごみ減量努力と当組合の内部努
力により、歳出を抑制することができました。決算の概要は
ホームページでも公開しています。

環境調査を行い、安全性を確認しています

エコセメント化施設、二ツ塚処分場、谷戸沢処分場では定期
的に水質や大気などの環境調査を行っています。これらの環境
調査は日の出町および地元自治会と締結した公害防止協定等
に基づいて実施しているもので、各調査は日の出町の方々の立会
いのもとに行っています。平成27年度の調査においても、特段の
異常は見られず、エコセメント化施設や処分場の埋立事業によ
る周辺環境への影響はないことが確認されました。調査結果は
ホームページでも公開しています。

東京たま広域資源循環組合
住所 〒190-0181 東京都西多摩郡日の出町
大字大久野 7642
TEL 042-597-6151 FAX 042-597-7886
Eメール sjkumiai@tama-junkankumiai.com

ご意見などをお待ちしております

循環組合では、皆さまのご意見、内容やごみ処理に関するお考えなどをお待ちしております。
お手紙、FAX、電子メールのいずれかの方法で、「たまエコニュース係」と明記のうえ、左記あて先にお送りください。

処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています

循環組合 検索



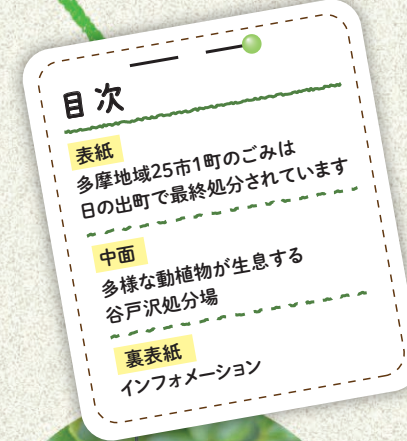
「たまエコニュース」はマチイロでもご覧いただけます。



地域とともに 自然とともに

たまエコ
ニュース
TamaEco News

2016
12月号
vol.68



オオムラサキ

多摩地域25市1町のごみは
日の出町で最終処分されています



フクロウ



谷戸沢処分場

埋立が終了した谷戸沢処分場では、
自然回復が進み、
多様な動植物が生息しています。

詳しくは
中面へ

“今”を見てみよう!



エコタロー

東京たま広域資源循環組合は、二ツ塚処分場・谷戸沢処分場を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町の
皆さまにご理解とご協力をいただきながら、多摩地域25市1町、約400万人のごみの最終処分を行っています。可燃ご
みの焼却灰をセメント(エコセメント)としてリサイクルし、不燃ごみは埋め立てをしています。

組織団体 八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、
小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、
武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、西東京市、瑞穂町

多様な動植物が生息する 谷戸沢処分場

埋立処分が終了して18年。谷戸沢処分場では里山の自然環境の再生が進み、水辺エリアなどを整備することにより、埋立前に比べ、生き物たちの種類、数ともに増えて、とても希少な動植物も多く見られるようになりました。

谷戸沢処分場とは

昭和59年から平成10年まで、14年間不燃ごみと焼却灰を埋め立てた最終処分場です。約260万立方メートル（東京ドーム約2個分の容量）のごみを埋め立てました。



水辺エリア



草原エリアのススキ野原から谷戸沢記念館を望む



冬の谷戸沢処分場

谷戸沢処分場の希少な動植物

約100種類の絶滅危惧種が確認されています。

水辺
エリア



クサレダマ (草蓮玉)

150cm近くに成長する大型の植物で、夏に見ることができます。

水辺
エリア



コサナエ

日本固有種で、主に5月ごろ見ることができます。小さなサナエトンボです。

水辺
エリア



カイツブリ

夏には背中にヒナを乗せて、水辺で泳ぐ姿が見られます。

水辺
エリア



ヨツボシトンボ

はねの真ん中の斑点を星にたとえてヨツボシとなりました。ずんぐりしたからだが特徴です。

草原
エリア



カヤネズミ

草原エリアのススキ野原に生息している日本最小のネズミ。草の種子などをエサにしています。

森林
エリア



キンラン

ランの仲間で、春になるとかわいらしい黄色い花を咲かせます。

森林
エリア



ノスリ

トビよりも一回り小さなタカの仲間で、処分場内で狩りを行っています。

その他



モリアオガエル

日の出町の天然記念物。初夏にはたくさんの鳴き声が聞こえます。

その他



トウキョウ サンショウウオ

日の出町の天然記念物。処分場内では産卵池を整備し、保護活動に取り組んでいます。

いろんな
生き物が
いるね!

環境省準絶滅危惧
オオムラサキ

谷戸沢処分場では、国蝶・オオムラサキの保全に取り組んでいます。オオムラサキの幼虫は、落ち葉のうらで越冬します。このため、落ち葉が風で飛ばされないように、柵で囲い保全しています。幼虫はエノキの葉しか食べないため、エノキの植樹も行いました。また、幼虫の一部を育成ケージで保護する取組も行っています。こうした取組により、オオムラサキの数も徐々に増えています。

エノキの根元の柵

Event Report

6月21日・23日
オオムラサキ見学会・放蝶会

6月21日に、国蝶・オオムラサキの見学会を実施しました。約100名の方が参加し、オオムラサキの羽化する姿などを楽しみました。

6月23日の放蝶会では、地元の小学生が来場し、元気な掛け声とともにオオムラサキの放蝶を行いました。

環境調査は地元の方々とともに

谷戸沢処分場では、処理水や周囲の井戸水の水質、大気などの環境調査を地元の方や日の出町の方や日の出町職員の立会いの下、行っています。



水処理施設での採水

井戸水調査

東京都絶滅危惧Ⅱ類 フクロウの記録

谷戸沢処分場内で、初めてフクロウの子育てが確認されました。



今年2月、谷戸沢処分場の森林エリアに取り付けたフクロウの巣箱で、卵をあたためるフクロウの姿が発見されました。



3月、巣箱の中に2羽のフクロウのヒナが誕生しました。



ヒナの母親がエサを取りに行っている間は、2羽でお留守番です。



4月、2羽のフクロウは大きくなり、無事に巣立っていました。